

第三回定例会一般質問(抜粋) 花を活用したまちづくりの取組を



小林紀夫議員

長野県小布施町は、花を魅力の一つとして観光客を集めている。本市も小布施町のような、花を活用したまちづくりの取組ができるといいと思うが、市の見解を。

福原悟都市整備部長 花を活用したまちづくりについては、都市の魅力を高めていく上で大変重要と認識している。小

布施町の事例なども参考に、来訪者の増加等による地域活性化に繋がるよう美しいまちづくりに努めていく。

その他の質問項目

市長の政治姿勢について  
第6次宇都宮市総合計画  
策定 地方創生と広域地方  
計画 中期財政計画と平成  
29年度予算編成 LRT事  
業  
医療政策について

本市の担う医療政策 二  
次救急医療体制 JCHO  
うつのみや病院  
農業政策について  
米作政策 6次産業化  
中小企業・小規模企業政策  
について

条例制定と組織拡充 経  
済分析による支援  
都市観光について  
美しいまちづくりについて  
・豊郷地区の自然

第三回定例会一般質問(抜粋) 「洪水ハザードマップ」の改定に積極対応を



黒子英明議員

水防法の一部改正に伴い、現在の鬼怒川の「洪水ハザードマップ」を改定することになるが、今後どのように対応して行くのか。また、姿川、田川における「洪水ハザードマップ」改定に向けた対応は。

田辺義博建設部長 的確な避難行動に繋げられるよう、平成29年夏を目前に、鬼怒川の

洪水ハザードマップ」を改定・公表。姿川や田川については「洪水浸水想定区域」の公表の際、速やかに「洪水ハザードマップ」を改定していく。

その他の質問項目  
市長の政治姿勢について  
本市のまちづくり 競輪  
事業  
上河内保健センターについて  
児童虐待対策について  
空き家の有効活用とグリーン

ンツリズムについて  
グリーンツリズムの促進  
空き家を利用した各種  
ツーリズム  
農業政策について  
農産物の販路拡大 耕作  
放棄地の対策  
公立小中学校における施設  
の整備と統廃合について  
公立小中学校の老朽化に  
伴う整備 公立小中学校の  
統廃合

第三回定例会一般質問(抜粋) 北西部地区拠点の積極的支援策を



内藤良弘議員

立地適正化計画等について、本市の特性を踏まえた独自の支援策が必要。北西部の国本、富屋、篠井、城山の4地区の地域拠点においては、どのような土地利用のイメージを検討しているのか。

福原悟都市整備部長 国本、富屋、篠井、城山の北西部地域は、「市街化調整区域の整

備及び保全の方針」改定の中で、日常生活に必要な食料品や日用品を扱う店舗、診療所などの地域拠点の機能充実、生活の利便性、地域内交通、豊かな自然環境や農業生産基盤の保全などを図っていく。

その他の質問項目  
市長の政治姿勢について  
平成28年度の市税収入の見込み 「農業王国うつのみや」10年の総括と今後の

取り組み LRT事業  
障がい者施設における安全対策について  
骨髄移植ドナー助成金について  
大谷地区の観光について  
宇都宮産米の消費拡大について  
市街地における生活交通の確保について  
し尿・浄化槽汚泥等の水再生センターにおける処理について  
北西部地域の総合体育施設の整備について

第三回定例会一般質問(抜粋) 部活動内部のハラスメントや顧問問題の検討を



金崎美子議員

部活動内部における人間の尊厳を損なうハラスメントや教師の過重負担となっている強制的ともいえる顧問問題については、検討する時期にきているのではないかと。教育長の見解は。

水越久夫教育長 生徒に対する人権侵害行為であり、未然防止の徹底に努めている。教

職員が顧問を担う必要がある。外部指導者の活用を促進するとともに、部活動指針に基づく適切な部活動運営の徹底を図り、教職員が意欲的に指導できるような努めていく。

その他の質問項目  
市長の政治姿勢について  
4期目に向けての政治姿勢  
女性職員の登用 子ども  
もオンブズパーソン  
児童福祉に関する現状と課

題について  
子育て世代包括支援センターとちぎ保育士・保育所支援センターの取り組み  
保育所における質の向上  
学校教育について  
学校教育における教育の理念 民間人校長の成果と  
今後の登用  
子どもの家等における障がい児への対応について

シリーズ **LRT** ライトレールトランジット (Light rail transit) **第10回**

# LRT計画 国が認定

## 年度内着工 19年開業へ

JR宇都宮駅東口と芳賀・高根沢工業団地を結ぶ次世代型路面電車(LRT)事業について、石井啓一国土交通相は9月26日、宇都宮市、芳賀町などが申請していた宇都宮芳賀ライトレール線「軌道運送高度化実施計画」を認定しました。実施計画の認定は、路面電車の新設に必要な軌道法の特許取得に当たり、全線を新設するLRTの認定は国内初、路面電車の新設でも194年の万葉線(富山県高岡市)以来約70年ぶりとなります。

計画は、JR宇都宮駅東口と芳賀・高根沢工業団地までの14・6キロで、19の停留場が設置されます。JR宇都宮駅と工業団地や住宅地を結び、通勤通学や買い物などの需要が見込まれ、ピーク時には6分間隔の運行を予定しています。

**整備費用は国と地元がほぼ半分ずつ 一県にも支援を要請**

宇都宮市と芳賀町が施設を整備・保有し、市町と地元経済界などが出資する第3セクターが営業主となる「上下分離方式」で、整備費459億円は地元と国がほぼ半分ずつ負担する計画です。宇都宮市と芳賀町では県にも支援を要請しています。

**工事施行・都市計画事業認可申請へ**

計画認定という最大の山場を越え、宇都宮

市と芳賀町は現在、道路と軌道の詳細設計を進めています。着工には、工事着手に必要な国の工事施行認可と県の都市計画事業認可が必要で、今後国と県にそれぞれ申請することになります。

**未来型都市(スマートシティ)目指し 市民の理解促進を**

自由民主党議員会では、人口減少・少子化・超高齢化の進む中、地域の日常生活を支える機能を備えた「コンパクトなまち」とそれらを公共交通網で結ぶ「ネットワーク型コンパクトシティの形成」を目指してきました。LRTはその一環を支える重要な公共交通機関です。市民の皆様の声に耳を傾け、ご理解を得ながら、引き続き取り組んでまいります。

認定書